

平成30年第2回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
6月12日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	湊 瀬 栄 子 議員	2
	3	3	田 川 正 毅 議員	4
	4	4	平 井 満 洋 議員	5
6月13日(水)	5	1	清 水 正 明 議員	6
	6	2	朝 長 隆 洋 議員	8
	7	3	佐嘉田 敏 雄 議員	8
	8	4	内 野 繁 樹 議員	10
6月14日(木)	9	1	小 嶋 俊 樹 議員	12
	10	2	浅 田 直 幸 議員	12
	11	3	戸 浦 善 彦 議員	13
	12	4	宮 本 一 昭 議員	15

1. 岩本利雄議員

質問事項1

職員力・組織力について

質問の要旨

自治体職員にとって市民サービスの向上や、業務の改善・改革には終わりはなく、職員力・組織力の向上は永遠のテーマである。本市は、急速な人口減少と少子高齢化のなかで、「まち・ひと・しごと総合戦略」・「第2次西海市総合計画」を策定し、目標達成に向け全市を挙げて取り組んでいる状況下にあつて、それらをけん引しなければならない本市職員には、強い職員力・組織力が求められている。そこで、職員力・組織力に関する次の点について、市長の見解を伺う。

- (1) 西海市職員として、目指すべき職員像・組織像とは何か。
- (2) 職員力・組織力向上のために、市長はこの1年職員に対しどのような動機付けを実施してきたのか。
- (3) 平成28年4月1日に施行された改正地方公務員法では、任命権者である市町村長等は人事評価制度を導入し、給与その他の処遇に反映することとなっている。施行から2年が経過したが、本市の実施状況を伺う。
- (4) 職員提案制度は、職員力向上のツールの一つとして重要な施策である。職員に対する提案奨励を、日頃どのようにしているのか。また、平成25年度から平成29年度までの提案件数実績を見ると、平成28年度及び平成29年度の提案件数が極端に少なくなっている。この原因は何か。
- (5) 職員力・組織力の向上や人材育成を目的とした基本研修、専門研修、職場内研修等が毎年度計画的に実施されている。これらに加えて、先進地視察研修も重要だと考える。本市における先進地視察の実施状況を伺う。また、職員力向上のため研修等を奨励する考えは無いのか、併せて伺う。
- (6) 事務作業能力の向上や作業の効率化等によって、時間外勤務手当は削減されるべきだと考える。平成30年度西海市一般会計予算書によると、当該年度の選挙費を対象外とした時間外勤務手当は、前年度を上回っている。各部署の時間外勤務手当の予算計上の仕組みは、どのようになっているのか。

2. 瀨 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

急傾斜地崩壊対策について

質問の要旨

国の交付金を受け県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の採択基準のひとつに、概ね人家 10 戸以上とあるが、この基準について国土交通省に尋ねたところ、市町村防災計画に位置付けられた避難路を有する場合は、5 戸に緩和できるとの説明があった。これを活用した急傾斜地崩壊対策事業を佐賀県杵島郡白石町が実施しており、会派による行政視察を行ったが、本市においても同様にして本事業を実施する考えはないか伺う。

質問事項 2

離島のイノシシ対策について

質問の要旨

離島においてもイノシシによる被害が拡大しており、道路法面などの土砂崩れが発生している。また、捕獲殺傷したイノシシの埋設作業はスコップ等を使った手掘り作業で苦勞されていると聞く。

佐賀県唐津市では、道路の落石除去や捕獲殺傷したイノシシの埋設作業に使用するミニショベルの購入費用を補助する「離島イノシシ対策事業」が実施されている。

補助対象経費には、離島までの運搬費や車搭載のために使用するアルミブリッジの購入費も含む、本事業を導入し、離島におけるイノシシの埋設作業の負担軽減を図るべきと思うが、いかがお考えか。

質問事項 3

漁船の係留設備について

質問の要旨

平成 29 年 3 月定例議会における一般質問で、瀬戸港の焼島地区では漁船の係留設備が整っておらず岩場を代用していることから、改善を求めたところ、県が実態を把握するとの答弁であった。また、向島地区の堤防は高潮が越える状況になっており、対策を求めたところ平成 27 年 1 月に県が調査を実施しており、補修などの対策事業の実施に期待したいとの答弁であったが、その後の進捗状況を伺う。

質問事項 4

(仮称) 西海江島洋上風力発電事業について

質問の要旨

原子力発電の代替エネルギーとして、地域の条件にあった再生可能エネルギーの開発・利用が必要だが、環境保全などについて関係者の理解を得ながら推進すべきと考える。そこで、以下の点について伺う。

- (1) 風力発電所は江島地先の共同漁業権内の設置が想定されているが、西海市周辺の海域は多くの魚種の回遊経路になっていると聞く。

去る平成 30 年 4 月 30 日に事業者は大瀬戸町漁業協同組合臨時漁民集会において「江島沖洋上風力発電事業計画」の今後の現地調査と環境アセスにかかる手続きについての資料を配布し、説明を行った。

しかしながら、設置が想定される地域に隣接する平島地区の漁業者には未だ説明がないままボーリング調査が始まっていると聞くが、その理由について伺う。また、関係漁業者への説明は十分行われたという認識か伺う。

- (2) 漁業者アンケート調査の概要がネットに公表され、洋上風力発電の漁業協調や事業実現の可能性などが問われているが、アンケート調査の実施主体はどこでどのように行われたのか伺う。

- (3) 西海市浜の活力再生プランにおいて、海洋再生可能エネルギー実証フィールドについて、「漁業者を含む海洋を利用する関係者全てにプラスとなる方法を検討していく必要がある」と示されているが、漁業者との協議を含め、検討された内容を伺う。

- (4) (仮称) 西海江島洋上風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対して環境大臣から 3 月 2 日に、経済産業大臣から 3 月 19 日に、それぞれ意見が述べられている。大臣の海生生物への影響に関する意見について市の見解を伺う。

- (5) 西海市風力発電等に係るゾーニング計画書が平成 30 年 3 月に策定されているが、この事業における西海市と事業者とのかかわり方と進め方について伺う。

3. 田川正毅議員

質問事項 1

西海市の医療体制の現状認識と対策について

質問の要旨

平成23年度と平成28年度に実施された西海市民の意識調査で重要度が高いにもかかわらず、満足を得られていない施策として2位に医療体制の充実が挙げられている。市営診療所の運営にとどまらず、広く二次医療（救急医療）も含めた安心できる民間医療体制の確立を図るべきと考える。

(1) 町ごとの医療体制に関し、次について伺う。

- ①個人医院（歯科を除く）医師の平均年齢と後継者の有無
- ②医療機関数
- ③有床医療機関数と病床数

(2) 市内医療体制の課題とその対策について、市長はどのように考えているか伺う。

(3) 高齢者が運転免許証を返納し、自ら運転をしなくなることで、医療機関への通院等が難しくなるなどの不安を解消するために、医療コミュニティバスの運行や通院費用等の助成制度を導入してはどうか。

(4) 西海市の救急医療体制の現状と取るべき対策について、市長はどのように認識しているか伺う。

(5) 西海市医療検討委員会が再起動されるが、当該委員会の体制と目的を伺う。

質問事項 2

西海市職員の勤務環境について

質問の要旨

政府が掲げる働き方改革では、主な目的の一つに長時間労働の是正が謳われている。西海市職員も長時間労働の弊害が生じていないのか、その実態について、次のとおり訊ねる。

(1) 平成29年度における各執行機関の部局ごとの職員1人当たりの平均時間外勤務時間数及び平均時間外勤務手当額を伺う。

- (2) 平成 29 年度において、最も多く時間外勤務をした職員の年間の時間外勤務時間数及び時間外勤務手当額を伺う。
- (3) 職員が時間外勤務を行う場合の流れはどのようなになっているのか。
- (4) サービス残業の有無について、実態を把握しているか。
- (5) 平成 29 年度中に心身の故障により休職した職員数と、そのうち復職した職員数を伺う。また、職員のメンタルヘルスに関する取組と成果について伺う。

4. 平井満洋議員

質問事項 1

大串横浦地区立石墓地道路整備検証について

質問の要旨

- (1) 最終的に法定外公共物と位置付けられるような道路に、約 5,000 万円もの費用を投じたことに関し、市民が納得できる答弁を求める。
- (2) 検証委員会として「投資対効果及び地域振興策としての事業のあり方については、現時点で見て必ずしも適当であったとは考えないが、ルートや工法の決定については、技術的観点から行われており、また、関係予算も議会の議決を経るなど、手続き的に瑕疵はなく」とあるが、平成 29 年 3 月 13 日に配布された現地の着工前と竣工後の写真を見る限り、必要以上のブロック積工だと思えるが、見解を伺う。

質問事項 2

長崎オランダ村について

質問の要旨

- (1) リニューアルオープンして 2 年になるが、長崎オランダ村の西海市に対する経済効果はどれ程か伺う。
- (2) 海上デッキの修復が行われているようだが、簡易であり安全性に欠けているよ

うだ。今一度西海市は長崎オランダ村との協議を行うべきと考えるが。

質問事項 3

ハウステンボス(株)による西彼町長島開発について

質問の要旨

- (1) 西彼町長島開発の進捗状況は。
- (2) 長島に限らず、他の島々や四本堂公園などの施設とも合わせた開発案はないか伺う。

5. 清水正明議員

質問事項 1

米海軍のエアクッション型揚陸艇(LCAC)の夜間航行について

質問の要旨

- (1) このことについては、議会としても平成 30 年第 1 回定例会において反対する旨の意見書を採択したところであるが、新聞報道によると、当該定例会閉会日同日に開催された、佐世保港運営委員会に杉澤市長がオブザーバーとして出席したとある。そこで、市長の発言の機会があったのか伺う。また、発言があったとすれば、その内容を伺う。
- (2) 同じく新聞報道によれば、米海軍の申し入れに対し、安全安心課が「夜間航行に反対だが、今回は事前通告とみなし、まずは安全対策を講じたい」と発言している。これは、「事前通告があれば、夜間航行は容認」と受け取れる発言だと考えるが、市長の考えを伺う。
- (3) 本年 5 月 10 日に横瀬貯油所内にある LCAC 駐機場が報道関係者に公開されたが、新聞報道によれば、司令官は、「佐世保市も西海市も事前通告を要望していた」とある。いつ、どのように要望されたのか伺う。

質問事項 2

建設行政について

質問の要旨

- (1) 平成 29 年度の本市における建設工事及び建設関係業務委託(測量・設計・調査)の平均落札率を伺う。
- (2) 県は、今年度より、建設関係業務委託の最低制限価格の設定方法を変更したが、本市の考え方を伺う。
- (3) 馬込川(大島町)の改修工事に関わって測量、設計が今年度予算に計上されているが、「開発水路」に関係するとのことであるので、工業団地整備事業特別会計で実施すべきではないか伺う。
- (4) 轟川(西海町太田原郷)改修工事の全体計画について伺う。

質問事項 3

医療・福祉行政について

質問の要旨

- (1) 市内の資格職(医師、看護師、保育士等) 確保のため、本市内で当該資格職として一定期間の勤務を義務づけることで、返済不要となる奨学金制度を設ける必要があると思うが、市長の考えを伺う。
- (2) 来年 10 月の消費税増税に伴い、その一部を財源とし、保育料等の無償化が政府で検討されている。これにより、入園希望者が増加し、待機児童が増加すると考えられるが、市としての対応を伺う。

質問事項 4

環境行政について

質問の要旨

- (1) 大村湾の本市沿岸部における海域、河川の環境基準点の水質の状況を伺う。

(2) 大村湾の本市沿岸部における汚水処理施設の普及状況と接続率を伺う。

6. 朝長隆洋議員

質問事項1

市内スポーツの振興を

質問の要旨

市民の融和・健康増進を進めていくうえでもスポーツの果たす役割は重要であり、市民協働の里づくりを掲げる総合計画においても、その役割は大きいと考える。このことについては、過去何度も一般質問を行ったが、しっかりと目を向けて取り組んでいるという印象はない。

市内小学校の社会体育活動・中学校のクラブ活動は、部員数の不足により各分野のスポーツ活動が、今後継続できなくなってくるのではないかと危惧されている。その実態の把握と各協会、教職員、外部指導者及び選手への支援体制の構築を行わなければ、たちまち全ての競技が衰退していくことは明らかである。

子ども達の夢を叶えられる環境の整備に向け、スポーツ振興基金を増額しているが、それ以前にスポーツに取り組めない状況になりかねない現状を放置しているのであれば、市民目線の政策とはとても言えない。市内のスポーツ活動が継続して行われるよう、今後の具体的な振興策を伺う。

また、体育協会の果たす役割を職務分掌としてしっかりと示し、成果を上げるべきと考えるが、現状の体制は、その役割を果たすために十分であるのかを伺う。

7. 佐嘉田敏雄議員

質問事項1

基地周辺のまちづくり構想及び支援事業について

質問の要旨

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条の規定に基づくまちづくり構想支援事業及びまちづくり支援事業を採択する条件として、地方公共団体が行うまちづくりの内容が、防衛施設が存在するという地域の特徴を活用し、防衛施設の周辺地域住民との文化の交流または地域における防災等のための活動の促進を

企図したまちづくりが挙げられている。

本事業の補助の対象は特定防衛施設関連市町村に指定された地方公共団体であり、まちづくり構想策定支援事業及びまちづくり支援事業は補助率が高く、本市にとって大変有利な事業であるが、本事業の採択へ向けた取り組みを進める考えはないか。

質問事項 2

基地周辺の生活環境整備計画による支援事業について

質問の要旨

- (1) LCACの日没後の訓練が常態化しつつある中、基地周辺住民は多大な迷惑を被っており、LCACの運用による基地周辺地域の住民生活及び事業活動が阻害されつつある。

基地周辺住民の事情を考慮し、区域内において行う地区公民館、集会所等の施設の整備またはその他の生活環境の改善（市道の改修、側溝整備等々）の円滑な実施について特に配慮する必要があるが、基地周辺地区と要望事項等の実施について、覚書または協定書を取り交わす必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

- (2) 西海市集会所等整備事業費補助金の特例として、地区公民館及び集会所等の建設にかかる補助率が80%～100%と、防衛施設の設置及び運用により生活環境に影響を及ぼす地域ごとに3段階に区分されているが、川内地区、水浦地区、丹納地区を100%、その他の地区は90%と補助率を見直す考えはないか。

- (3) 集会所等の改修工事にかかる補助率については、西海市集会所等整備事業費補助金の特例に関する要綱を改正し、横瀬地区100%、川内地区、水浦地区、丹納地区は80%、その他の地区は70%とする考えはないか。

- (4) 基地周辺地域における生活環境の整備については、住民の生活または事業活動が阻害、もしくは影響の範囲、その他の事情を配慮し、特段の措置をとる必要があると思うが、市長の考えを伺う。

質問事項 3

防災基地対策課の基地政策に関する事務について

質問の要旨

消防基地対策班の事務分掌はどのようになっているのか。

質問事項 4

地方創生と若者の定住、少子化対策について

質問の要旨

人口減少社会の流れが続く中、本市においてもさらなる人口減少の加速が予想されており、これに歯止めをかけるため、若者の定住促進に向けた住みたくなるまちづくりの政策実現が喫緊の最重要課題であると考えているが、次について市長の考えを伺う。

- (1) 保育所、幼稚園、認定こども園の保育料については、所得制限なく中学校以下第3子以降の保育料は無料となっているが、これを高校以下第3子以降の保育料は無料とする考えはないか。
- (2) 医療費無料化は中学生までが対象となっているが、市内に在住し、かつ市内のいずれかの高校に在学する生徒までとする考えはないか。
- (3) 子育て世帯をはじめ、若者を対象とした定住奨励金制度などの制定により、人口増加を図る考えはないか。
- (4) 子育て支援、雇用確保、観光PRなど全庁体制で推進するため、定住促進基本計画を策定する考えはないか。

8. 内 野 繁 樹 議員

質問事項 1

西海医療福祉センターへの検証について

質問の要旨

平成 23 年 4 月 1 日に、西海市立病院、特別養護老人ホームやすらぎ荘及び養

護老人ホーム緑風園を社会福祉法人福医会へ移譲するにあたり、施設建設に係る補助金及び貸付金 7 億 700 万円に初年度医療施設運営補助金 6,500 万円を加えた総額 7 億 7,200 万円の巨費を支出している。平成 22 年 7 月 14 日に締結した「西海市立病院等の移譲等に関する仮協定書」第 3 条には、「少なくとも平成 48 年 3 月 31 日までの間は、地域の実情に即した医療及び介護・福祉サービスを継続して提供するよう努めなければならない。」とある。平成 48 年までの今後 18 年、今よりももっとより良い医療を提供していただきたいと考えているが、移譲から 7 年経過した現在、この条文を踏まえ、西海医療福祉センターの医療及び介護・福祉サービスの提供についてどのように検証しているのか伺う。

質問事項 2

医療を確保できる公立の診療所の開設について

質問の要旨

平成 29 年第 2 回定例会で市長は、「10 年後、15 年後に医療空白地帯が発生することを懸念しており、この問題を克服するため、公立の診療所の建設という必要性が出てくるのではないかと危惧している。」と答弁されている。このように認識しているにもかかわらず、財政的に困難という理由だけで診療所開設の具体化に向けた道筋をなぜ作らないのか伺う。

質問事項 3

旧瀬戸地区公民館跡地の利活用について

質問の要旨

本年 3 月 14 日に西彼杵高校において、1 年生による大瀬戸地区活性化に向けた意見発表会が開催された。インターネット中継により東京の講師が参加し、「大瀬戸地区が今よりも元気になるために必要なことは何か」をテーマに 14 人の生徒が発表した。手法、内容ともに、すばらしいものであった。

その発表会の場を見て、この若い世代に旧瀬戸地区公民館跡地の利活用のイメージ作りを託したら、良いものが生まれるのではと感じた。地区の活性化や市の活性化に若い力、能力を積極的に活用してはどうかと考えるが、市としての今後の関わり方について伺う。

9. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

社会資本整備総合交付金と防災安全交付金について

質問の要旨

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を 1 つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く創意工夫を生かせる総合的な交付金として創設されている。また、防災安全交付金は、地域住民の暮らしを守る総合的な老朽化対策や事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため創設されている。

- (1) これらの交付金は、地域のインフラ整備や観光事業などに使用できるが、長崎県所管の事業は本市で実施されているか。

- (2) 本交付金に関する、今後の市の取組について伺う。

質問事項 2

ピクトグラム(絵文字、絵単語)の導入について

質問の要旨

ピクトグラムは今や私たちの生活空間でなくてはならない存在になったが、地域の伝統文化をアイコンで表現し、観光だけでなく、農業、水産、ブランド、地域の自治会などにおけるピクトグラムの導入についての考えを伺う。

10. 浅 田 直 幸 議員

質問事項 1

新元号移行に向けての対策について

質問の要旨

新元号の公表時期が改元 1 か月前と想定されるが、短期間での準備を迫られる中、円滑な移行を目指すための対策を計画しているのか伺う。

質問事項 2

島の暮らし支援室の今後の取組について

質問の要旨

4月の組織改編により、新たに島の暮らし支援室が創設され、離島に特化する部署として大いに期待するところである。そこで、これからの具体的な取組について伺う。

質問事項 3

運転免許証返納者に対する施策について

質問の要旨

昨年3月に改正道交法が施行され、75歳以上の認知機能検査が強化されたことや、高齢ドライバーの事故防止に理解が進んだことにより、全国で返納者が増加した。

西海市においても、返納をしたいと思っているが、市内交通網の未整備や諸事情で返納を躊躇されている方々がいるはずである。既に他自治体でも実施されている乗車券等の支給など、返納を後押しするような施策を実施する考えはないか

質問事項 4

崎戸町における行政区の町単位の今後について

質問の要旨

崎戸町においては、少子高齢化及び人口減少によって行政区を構成する町単位での活動について大変厳しい状況になりつつあると認識しているが、今後についての市長の見解を伺いたい。

11. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

市長が掲げる「西海市内の地域の均衡ある発展」について

質問の要旨

(1) 市長は自らのまちづくりの基本姿勢として「西海市内の地域の均衡ある発展」

を掲げているが、市長の考える「均衡ある発展」とは、具体的にどのようなことなのか。

- (2) 市長が考える「西海市内の地域の均衡ある発展」のため、各町の課題を整理し、達成するための施策や数値目標等を具体的に定めているのであれば、その内容を伺う。

質問事項 2

西海市民の安心安全な生活の確保と均衡あるインフラ整備について

質問の要旨

- (1) 現在、土砂災害防止法に基づいた土砂災害警戒区域等の指定を行うための基礎調査が市内で実施されている。これは土砂災害危険箇所を広く市民に知ってもらうための事業であるが、大雨時など災害発生の恐れがあるこれらの区域（急傾斜地など指定区域外も含む）に対し、どのような対策を講じているのか伺う。
- (2) 三方海に囲まれた西海市の港湾・海岸（護岸）が経年劣化等で傷んでいる。近年大型化する台風等災害から漁業者の生活の糧である漁船（遊漁船含む）や護岸沿いの上下水道及び生活道路を守る港湾施設の整備は、海辺に住む人々の安全確保と利便性の向上のため必要だが、どのような対策を講じるのか伺う。

質問事項 3

市長が掲げる「教育の重点化」について

質問の要旨

- (1) 市長は政策テーマの一つに「教育政策の重点化」を掲げているが、具体的にどのようなことなのか。
- (2) 市長就任から1年が経過したが、「教育政策の重点化」について、現在の進捗状況を伺う。
- (3) 「教育政策の重点化」に向けた課題を整理し、達成するための施策や数値目標等を具体的に定めているのであれば、その内容を伺う。

- (4) 西海市の文化（歴史、図書館等を含む）・芸術等の振興策について、どのように考えているのか伺う。

12. 宮本一昭議員

質問事項 1

地域医療について

質問の要旨

- (1) 今後、ますます高齢化が進む中、地域医療の中核となる病院、医院が存在しない本市において安心できる地域医療の充実は、重要な施策の一つと考えるが、救急搬送体制や医師の後継者不足が懸念されている本市の状況を踏まえ、今後の対応策について伺う。
- (2) 有人離島を抱える本市において、それぞれの診療所における、一次医療機関、二次医療機関との連携体制は充実しているのか伺う。

質問事項 2

地域コミュニティ交通について

質問の要旨

長寿高齢化とともに交通手段をもたない高齢者が増えている。実証試験の結果を経て、すでに3地区で乗り合いタクシーが運行されているが、市内には、まだ交通空白地帯が存在しており、その他の地域でも必要性があると感じる。

そこで、3地区の現状と辺地や高齢化率の高い他地域への対応について伺う。